

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 45 号

第 45 週( 11 月 6 日 ~ 11 月 12 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 11月 16日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

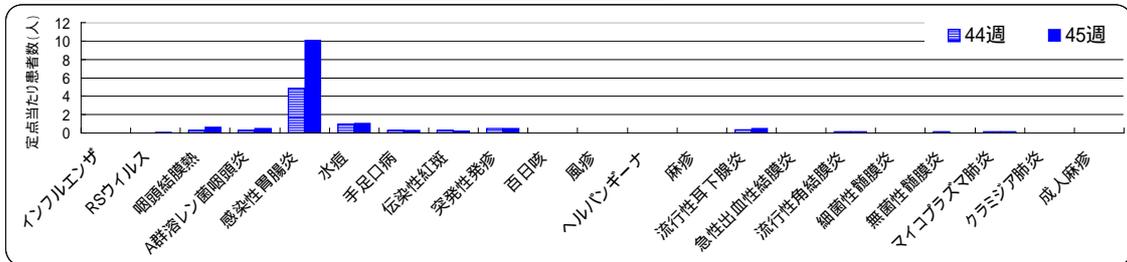
### 今週の感染症発生動向

#### 東近江および高島保健所管内で感染性胃腸炎の発生は急増!!

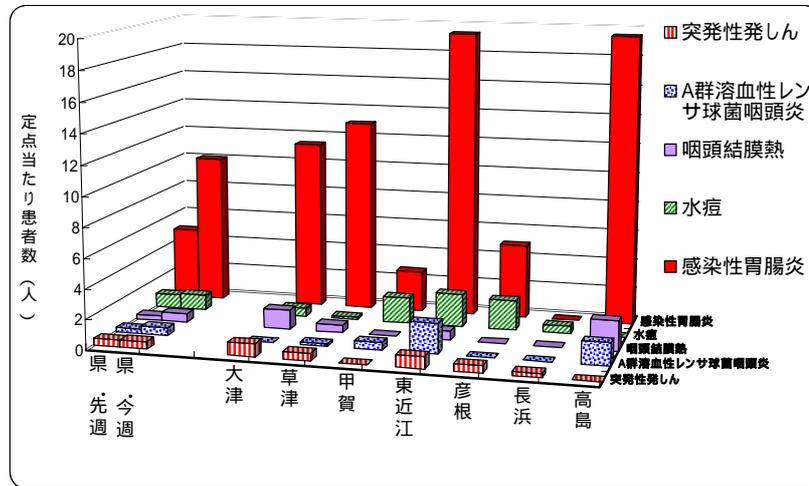
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(10月30日~11月5日)の報告数より約1.7倍増となり、特に感染性胃腸炎で倍増しています。増加した疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘等で、減少した疾患は伝染性紅斑等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

今週は全数把握対象疾患の届出はありませんでした。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第45週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、感染性胃腸炎、水痘、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、突発性発疹の順に多くなっています。感染性胃腸炎は甲賀および長浜以外で急増しています。特に東近江および高島では非常に多くなっており、今後の発生状況に十分な注意が必要です。

#### 感染性胃腸炎の予防について

- 十分な手洗いをする(外出からの帰宅時、食事の前、排便後、オムツの処理時等には、せっけんを使用し、流水で10秒以上洗う)。
- 食品(かき等)は十分に加熱調理する(食品の中心温度が85℃1分以上)。
- 使用する調理器具(まな板、包丁、たわし、ふきん等)は、使用前および使用後に熱湯または次亜塩素酸ソーダ(キッチンハイター等)で十分に消毒する。
- 患者との濃厚な接触を避ける。



手のひらを洗う 手の甲を洗う  
指先、爪の間に洗う 指の  
間を洗う 親指を洗う 手首  
を洗う



最初に水、うがい薬、お茶等で残った食べ物などを取り除くためにうがいをする。

上を向いてのどの奥まで液が回るように15秒程度うがいをする。

15秒程度のうがいを数回繰り返す。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (45週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (45週)	全国 (45週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	1	46	0	54
	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 6	425	<sup>(*)3</sup> 7	556
三類感染症	腸チフス	0	0	66	0	50
	腸管出血性大腸菌感染症	0	51	3,575	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	1	59	0	40
	A型肝炎	0	21	300	1	168
	オウム病	0	0	19	1	34
	デング熱	0	0	50	1	73
	マラリア	0	0	54	0	66
	レジオネラ症	0	11	439	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	645	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	246	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	150	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	5	96	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	8	1,135	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	79	0	81
	梅毒	0	4	538	0	555
	破傷風	0	0	103	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	63	2	65
	急性脳炎	0	1	139	2	180

\*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

\*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第45週(11/6～11/12) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: つつが虫病 15例	五類感染症: 梅毒 6例
二類感染症: 細菌性赤痢 5例	日本紅斑熱 1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
腸チフス 2例	レジオネラ症 4例	後天性免疫不全症候群 12例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 35例	レプトスピラ症 3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例
四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 8例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
	ジアルジア症 1例	
	ウイルス性肝炎 7例	

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点<sup>\*</sup>から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。<sup>\*</sup>疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(第40～45週、10/2～11/12)

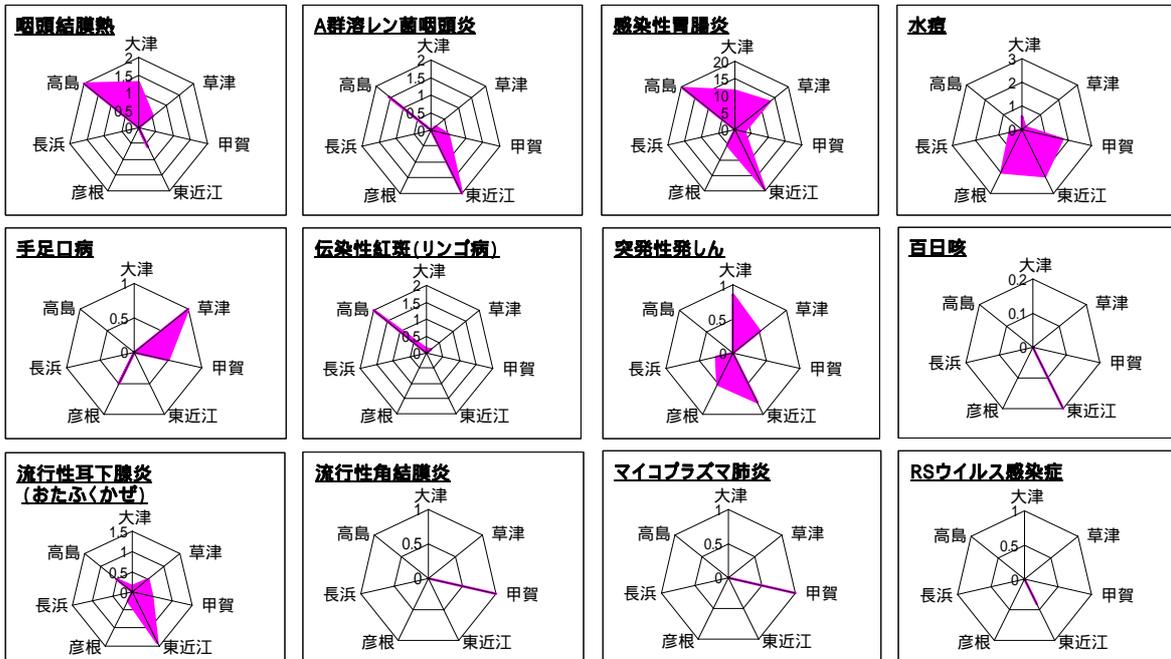
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	40週	41週	42週	43週	44週	45週	週					
	(10/2～)	(10/9～)	(10/16～)	(10/23～)	(10/30～)	(11/6～)	41	42	43	44	45	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0.03	0.06						
咽頭結膜熱	0.09	0.22	0.19	0.28	0.31	0.59						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28	0.91	0.72	0.75	0.31	0.50						
感染性胃腸炎	1.13	1.66	2.28	3.25	4.88	10.09						
水痘	0.59	0.75	0.38	0.72	0.94	1.03						
手足口病	0.56	0.63	0.38	0.47	0.31	0.31						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.31	0.19	0.44	0.19	0.25	0.19						
突発性発疹	0.56	0.66	0.53	0.34	0.47	0.50						
百日咳	0	0	0	0	0	0.03						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0.03	0						
ヘルパンギーナ	0	0.09	0	0	0	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0.06	0	0.09	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.84	0.44	0.63	0.59	0.38	0.47						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.86	0.71	0.57	0.29	0.14	0.14						
細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0.29	0.14	0						
マイコプラズマ肺炎	0.43	0.43	0.14	0.14	0.14	0.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第45週, 11/6~11/12)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.06	0	0	0	0.40	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.59	1.29	0.50	0	0.60	0	0	2.00	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0	0.17	0.50	2.00	0	0	1.50	■
感染性胃腸炎	10.09	11.40	13.00	2.75	19.40	5.00	0	19.50	■
水痘	1.03	0.57	0.17	1.75	2.20	2.00	0.50	0	■
手足口病	0.31	0	1.00	0.50	0	0.50	0	0	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0.14	0.17	0	0	0	0	2.00	■
突発性発しん	0.50	0.86	0.50	0	0.80	0.50	0.25	0	■
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	■
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.14	0.50	0.50	1.40	0.25	0	0.50	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加、 ■ は定点当たり患者数が非常に多い状態  
0 4 8 12  
定点当たり患者数(人)

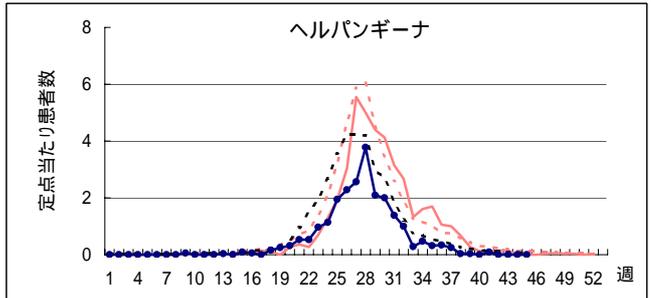
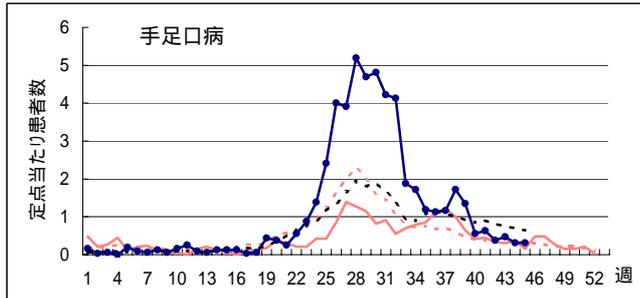
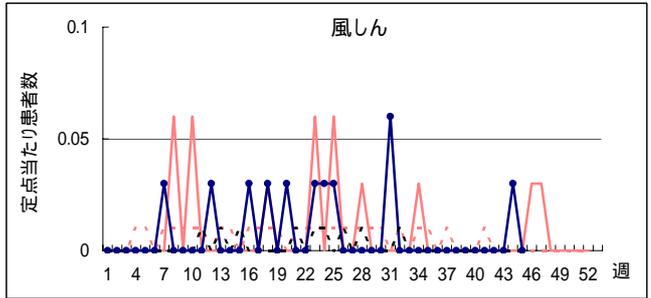
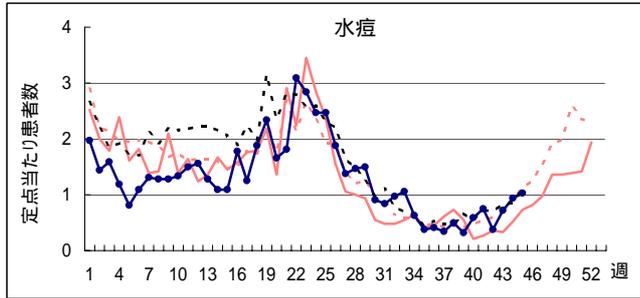
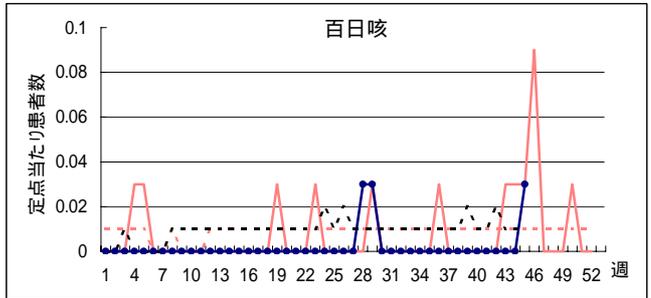
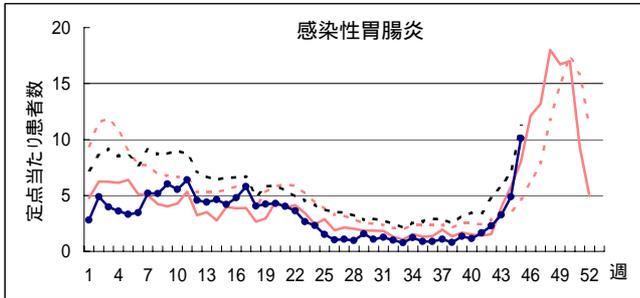
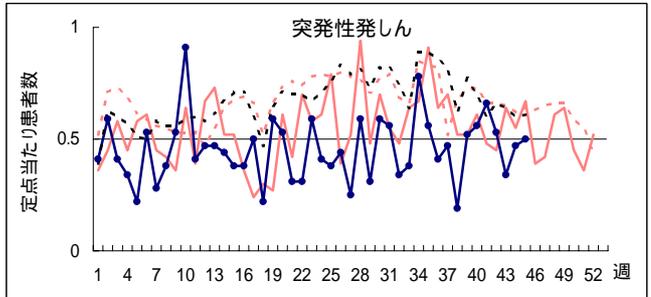
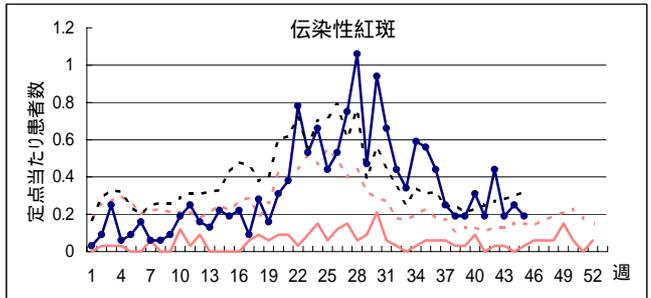
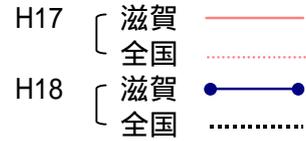
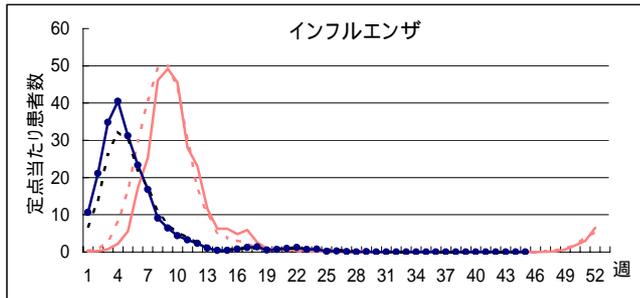
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- 咽頭結膜熱-----大津および高島でやや多くなっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----高島では先週と同様ですが、東近江では先週よりかなり多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----大津、草津および東近江では先週の約倍増、彦根では約4倍増、高島では約20倍増となり、県全体としては非常に多くなっています。
- 水痘-----甲賀、東近江および彦根でやや多くなっています。
- 手足口病-----草津で先週よりやや多くなっています。
- 伝染性紅斑-----県全体では先週より少なくなっていますが、高島ではやや多くなっています。
- 突発性発しん-----県全体では先週よりやや多くなっており、年齢は全て1歳以下です。
- 百日咳-----東近江から1名の報告があり、年齢は～5ヶ月です。
- 流行性耳下腺炎-----東近江からの報告がやや多くなっています。
- 流行性角結膜炎-----甲賀から報告されています。
- マイコプラズマ肺炎-----甲賀から報告されています。
- RSウイルス感染症-----東近江から報告されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第45週、H18.1.2～H18.11.12)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第45週、H18.1.2～H18.11.12)

H17 { 滋賀 ————  
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●  
全国 - - - - -

